

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	塩基性炭酸銅(II)
製品コード	E3-15
整理番号	E3-15-2
供給者の会社名称	林 純薬工業株式会社
住所	大阪府大阪市中央区内平野町3丁目2番12号
担当部門	環境・品質保証部
電話番号	06-6910-7305
FAX番号	06-6910-7300
緊急連絡電話番号	06-6910-7305

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	可燃性固体 区分外 自然発火性固体 区分外 自己発熱性化学品 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害

注意書き

安全対策

取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

応急措置

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P301+P312)

口をすすぐこと。(P330)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	塩基性炭酸第二銅

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
塩基性炭酸第二銅	50%以上 (Cuとして)	CuCO ₃ · Cu(OH) ₂	1-130	公表	12069-69-1

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び銅及びその化合物
有害物(法第57条の2、施行令(法令指定番号:379)
第18条の2別表第9)

毒物及び劇物取締法 劇物(指定令第2条) 無機銅塩類。ただし、雷銅を除く。

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分を緩めてやる。
 医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合 汚染した衣服、靴、靴下を脱がせ遠ざける。接触した身体部位を水と石鹸で洗うこと。
 医師の手当、診断を受けること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。
 医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合 直ちに多量の水を飲ませる。
 口をすすぐこと。
 医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 水噴霧,粉末消火薬剤,二酸化炭素,泡消火薬剤,乾燥砂

使ってはならない消火剤 高圧棒状放水

特有の危険有害性 不燃性であるが、火災時に刺激性もしくは有毒なフェーム又はガスを発生する恐れがある。

特有の消火方法 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
 移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。
 着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて一挙に消火する。

消火を行う者の保護 火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項 汚染された排水等が適切に処理されずに環境に排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 漏出物は、粉塵を発生させないように注意し、できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移動する。
 回収跡は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。
 長時間または反復の暴露を避ける。
 漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にする。
 作業後は容器を密栓し、うがい手洗いを十分にする。
 取り扱う場合は局所排気内、又は全体換気のある場所で取り扱う。

安全取扱注意事項 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。

保管

安全な保管条件 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。

安全な容器包装材料 遮光した気密容器(ガラス、ポリエチレン)

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
塩基性炭酸第二銅	設定されていない		0.2mg/m ³ (Cuとして)

設備対策	取扱場所での発生源の密閉化、または局所排気装置、全体換気装置の設置。取扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク、自給式呼吸器(火災時)。
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	不浸透性前掛け、不浸透性作業衣、保護長靴。
9. 物理的及び化学的性質	
外観	
物理的状态	固体
形状	結晶又は結晶性粉末
色	淡青緑色
臭い	情報なし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	200～220℃(分解)
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	データなし
蒸発速度	情報なし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	情報なし
比重(密度)	3.7～4.0g/cm ³
溶解度	水に不溶。酸に可溶。
動粘性率	データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性	情報なし
化学的安定性	通常の実験において安定。加熱すると分解し、刺激性の煙とガスを発生する。
危険有害反応可能性	酸類、酸化剤と反応する。
避けるべき条件	日光、湿気、熱。酸類、酸化剤との接触。
混触危険物質	酸類、酸化剤。
危険有害な分解生成物	酸化銅。
11. 有害性情報	
急性毒性:経口	雌雄ラットを用いた経口投与試験のLD ₅₀ 値1495mg/kg, 1350mg/kg(EHC 200, 1998)に基づき区分4とした。
急性毒性:吸入(気体)	GHSの定義における固体。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし。なお、銅粉塵は眼刺激性を示すことがある(PATTY, 2001)。
発がん性	データなし。なお、IRIS(1991)では銅をD(区分外相当)に分類している。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。なお、ATSDR(draft, 2004)には銅粉塵の暴露は気道を刺激するとの記載がある。
12. 環境影響情報	
生態毒性	情報なし
オゾン層への有害性	データなし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

IMOの規定に従う。
UN No. 3288
Proper Shipping Name. TOXIC SOLID, INORGANIC, N.O.S.
Class 6.1
Packing Group III
Marine Pollutant Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code Not applicable

航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。
UN No. 3288
Proper Shipping Name. TOXIC SOLID, INORGANIC, N.O.S.
Class 6.1
Packing Group III

国内規制

陸上規制情報

該当しない

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

国連番号

3288

品名

その他の毒物(無機物)(固体)

国連分類

6.1

容器等級

III

海洋汚染物質

非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

航空規制情報

航空法の規定に従う。

国連番号

3288

品名

その他の毒物(無機物)(固体)

国連分類

6.1

等級

III

特別安全対策

運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。

緊急時応急措置指針番号

151

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

毒物及び劇物取締法

劇物(指定令第2条)

水質汚濁防止法

有害大気汚染物質(中央環境審議会第9次答申)

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)

船舶安全法

毒物類・毒物(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)

航空法

毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)

港則法

危険物・毒物類(法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二)

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

水道法

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101)

下水道法

水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)

16. その他の情報

参考文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)

16514の化学商品(化学工業日報社)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH

その他

当該製品の化学物質製品を取り扱う事業者に対して提供するものであり、安全を保証するものではありません。

現時点における該当化学物質の情報を全て検証しているわけではありません。

当該化学物質について常に未知の危険性が存在するという認識で、製品運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先して使用者自己の責任においてご使用下さい。

当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用される場所・機関・国などの、法規制等については使用者自ら調査し最優先させてください。

国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。

このSDSは林 純薬工業株式会社の著作物です。

当該物質の日本語によるSDSと他国言語にて翻訳されたSDSが存在する場合、内容の相違があるなしに関わらず日本語で記述された文書が優先され他国言語による文書は参考文書とします。